

# 出向く営農レポート

～アレッタ「頂花蕾の収穫」について～

訪問日：12月12日



北部営農センター  
伊藤 日菜

尾張旭市役所と連携して運営している「尾張旭市農学校」の実習圃場にて、地元の学校給食・保育園給食へ出荷を予定している「アレッタ」の管理について説明しました。9月に定植したアレッタは、適切な灌水、追肥、病害虫防除を経て順調に生育しています。

今回の指導のメインは、「頂花蕾(ちょうからい)の収穫」です。今後の収穫量を左右する重要な工程で、中央にできる頂花蕾を最初に収穫することで、脇から出てくる「側花蕾(そくからい)」の発生を促進させ、全体の収穫量を増やすことができます。

頂花蕾が500円玉程度の大きさになったタイミングを見計らい、葉よりも低い位置で主茎をカットします。

## Point!

- ① 切り口は必ず「斜め」にする…断面を斜めにすることで、雨水の滞留を防ぎ、切り口からの腐敗を防止します。
- ② 深く切りすぎない(頂花蕾から10cm～15cm下を目安に)…15cm以上の深さで切ると、その後の側花蕾の発生数(収量)に悪影響を及ぼすため、適切な位置でのカットが重要です。



尾張旭地域では、12月中に頂花蕾の収穫作業を終え、1月～2月にかけて、食べごろに成長した側花蕾を市内の学校給食や保育園給食へと出荷しています。

地元農家が大切に育てたアレッタを子どもたちがおいしく食べ、食育の一助となるよう、収穫完了まで丁寧な営農指導を続けていきます。